

有明工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	体育Ⅲ	
科目基礎情報							
科目番号		3Z008		科目区分		一般 / 選択	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科		創造工学科		対象学年		3	
開設期		通年		週時間数		前期:1 後期:1	
教科書/教材		最新スポ ーツルール(大修館書店)					
担当教員		野口 欣照,入部 祐郁					
到達目標							
1.集団行動については、集団としての秩序を保つことかゝてゝ できる。 2.新体力テストについては、体力、運動能力の現状を把握てゝ できる。 3.野球・ソフトボールを行う上での必要な技術・作戦を実行する事ができる。 4.硬式テニスを行う上で必要な技術を用い、試合を展開する事ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		すはゝ やく行動し、リーダ ーとして集団としての秩序を保つことかゝてゝ できる。		集団の一員として、集団としての秩序を保つことかゝてゝ できる。		集団の一員として、集団としての秩序を保つ弊害となってしまう。	
評価項目2		自身の強い体力、高い運動能力の現状を把握てゝ できる。		自身の体力、運動能力の現状を把握てゝ できる。		自身の体力、運動能力の現状を把握てゝ できない。	
評価項目3		技能を高め、あらかしゝ め作戦を立て、攻防を展開することかゝてゝ できる。		相手との攻防を展開 することかゝてゝ できる。		相手との攻防を展開 することかゝてゝ できない。	
評価項目4		自身の強みや相手の弱みを理解し、それをゲームの中で反映させる事ができる。		相手との攻防に応しゝ て試合をすることかゝてゝ できる。		相手との攻防に応しゝ て試合で実践することかゝてゝ できない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1							
教育方法等							
概要		運動についての科学的理解に基づゝ き、合理的な練習によって運動技能を高めると共に、生活における運動の意義についての理解を深め生活を健全にし、明るくする能力や態度を養うことかゝてゝ できる。 運動における競争や共同の経験を通して、公正、協力、責任などゝ の態度を養い、社会生活における望ましい行動の仕方かゝてゝ できる。 野球・ソフトボールは、競技特性の違いを理解し、チームの課題や自己の能力に応しゝ て技能を高め、作戦を活かした攻防を展開して試合かゝてゝ できる。 テニス（硬式）は、軟式テニスとの違いを理解し、自己の能力に応しゝ て技能を高め、相手の動きに対応した攻防を展開して試合かゝてゝ できる。					
授業の進め方・方法		実技中心の授業を進めていく。 理解度テストは、授業中に小テスト形式てゝ 行う。					
注意点		実技試験の成績60%、ルールテスト20%、平常点を20%てゝ 総合的に評価する。 欠席や見学はもちろん体操服忘れや頭髮の乱れに関して、「体育」は実技種目である為、実際に運動をして初めて「出席」扱いとなる。それらがきちんと出来ていない場合は「出席」とは認められず、減点の対象や「欠課」扱いとなる場合がある。 遠隔授業などで授業が実施できない場合、レポートを作成して提出することでその授業の出席扱いになる為、提出期限は厳守。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	説明 集団行動・新体力テスト		授業における注意事項を知ることかゝてゝ できる 集団てゝ の秩序を保つことかゝてゝ できる		
		2週	新体力テスト・キャッチボールの基本		体力、運動能力の現状を把握することかゝてゝ できる ボールの投球・送球、を理解・実践することができる		
		3週	新体力テスト・キャッチボールの基本		体力、運動能力の現状を把握することができる ボールの投球・送球、を理解・実践することができる		
		4週	キャッチボール・バッティングの基本		ボールの送球、打撃の基礎技術に関して理解・実践することができる		
		5週	キャッチボール・バッティングの基本		ボールの送球、打撃の基礎技術に関して理解・実践することができる		
		6週	実技試験				
		7週	キャッチボール・バッティングの基本・ノック		ボールの送球、打撃の基礎技術に関して理解・実践することができる		
		8週	実技試験				
	2ndQ	9週	キャッチボール・バッティング・ノック		試合に向けてポジションごとの特性を理解し、送球・打撃・守備を実践する事ができる。		
		10週	キャッチボール・バッティング・ノック		試合に向けてポジションごとの特性を理解し、送球・打撃・守備を実践する事ができる。		
		11週	試合		個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる		
		12週	実技試験				
		13週	試合		個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる		

後期		14週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		15週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		16週		
	3rdQ	1週	テニス（硬式）の説明 基本的技能	授業における注意事項を知ることができ、基本的なストロークを実践することができる
		2週	ラリー・サーブ	ストロークを連続でできる（ラリー）サーブを打つにあたってのルールを理解し、実践できる
		3週	ラリー・サーブ	ストロークを連続でできる（ラリー）サーブを打つにあたってのルールを理解し、実践できる
		4週	ラリー・サーブ	ストロークを連続でできる（ラリー）サーブを打つにあたってのルールを理解し、実践できる
		5週	実技試験	
		6週	ラリー・サーブ・実技試験	ストロークを連続でできる（ラリー）サーブを打つにあたってのルールを理解し、実践できる
		7週	ラリー・サーブ・実技試験	ストロークを連続でできる（ラリー）サーブを打つにあたってのルールを理解し、実践できる
		8週	ラリー・サーブ・実技試験	ストロークを連続でできる（ラリー）サーブを打つにあたってのルールを理解し、実践できる
	4thQ	9週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		10週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		11週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		12週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		13週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		14週	試合	個人的、集団的技能を生かし、試合を進めることができる
		15週	実技試験	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	80	0	0	20	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0